

今回は「カタールの工業」についてお話をします。

地下資源を利用したカタールの工業

カタールには日本のようなたくさんの種類の工場はありません。基本的には自国で生産していない工業製品などは輸入に頼っています。カタールで行われている工業の中心は地下資源の採掘やそれを利用したものです。

〈カタールの主な工場の製品と原料〉

工場	製品	原料
カタール石油化学会社 (QAPCO)	エチレン・ポリエチレン	石油
カタール石油公社 (QP)	石油・液化天然ガス	石油・天然ガス
カタール科学肥料会社 (QAFCO)	アンモニア・尿素	石油・天然ガス
カタール鉄鋼会社 (QASCO)	製鉄	鉄鉱石
天然ガス液化工場 (ラスガス) (カタールガス)	液化天然ガス	天然ガス
カタールセメント会社	セメント	石灰石・ジプサム・しょう石灰
カタール製粉工場	小麦粉	小麦
淡水化工場	水	海水
発電所	電気	石油・天然ガス

上の表から分かるように、石油や天然ガスなどの地下資源が豊富に産出されることを利用して様々なものが作られています。最近ではカタールの天然ガスが世界でも有名になってきましたが、はたしてどのくらい埋蔵しているかご存じですか。

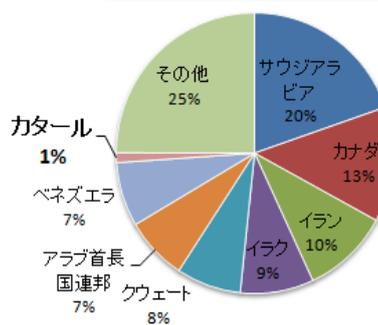
驚くべき埋蔵量

石油と天然ガスの世界の埋蔵量上位国は右図の通りです。カタールは石油も多く出ますが、世界で見ると8位でシェアは1%とそれほど多くはないです。しかし、天然ガスはロシア、イランに次ぐ世界第3位となっています。国の大きさは日本の秋田県ほどの大きさなのに、これほどたくさんの地下資源が埋蔵されていることに驚かされます。これがカタールの工業力・経済力の支えとなっています。天然ガスの場合、現在のペースで掘り続けるとあと100年間は掘ることができると言われています。

カタールの各地で右写真のような火を出す煙突を見かけます。これは世界一の天然ガス産出量をほこるラスラファン工業地帯のガス田です。その他にも大きなガス田や油田がたくさんあります。日本の企業にもこれらの地下資源を掘るプラント作りを行ったり、日本に輸出したりしている企業が多くあります。

このような様子を見ていると、今のカタールの成長は豊富な地下資源に支えられていることを実感させられます。

石油の埋蔵量上位国



天然ガスの埋蔵量上位国

